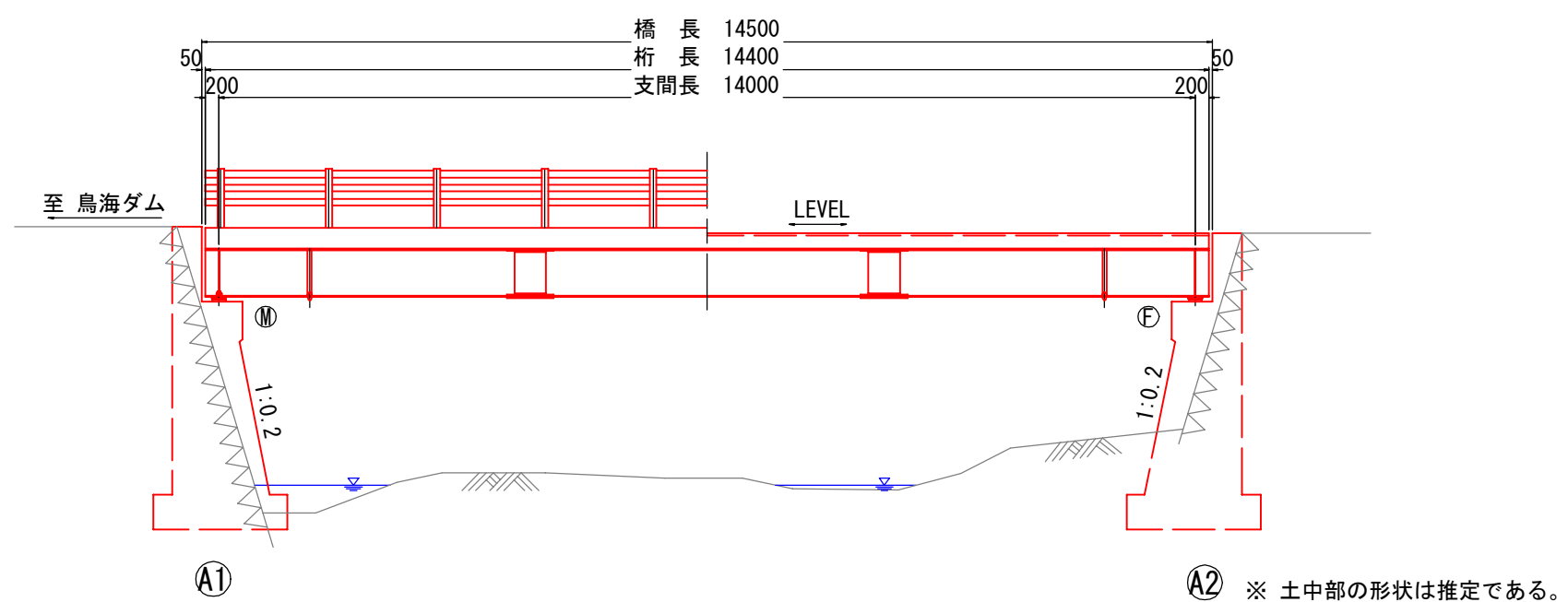


S=1:20,000

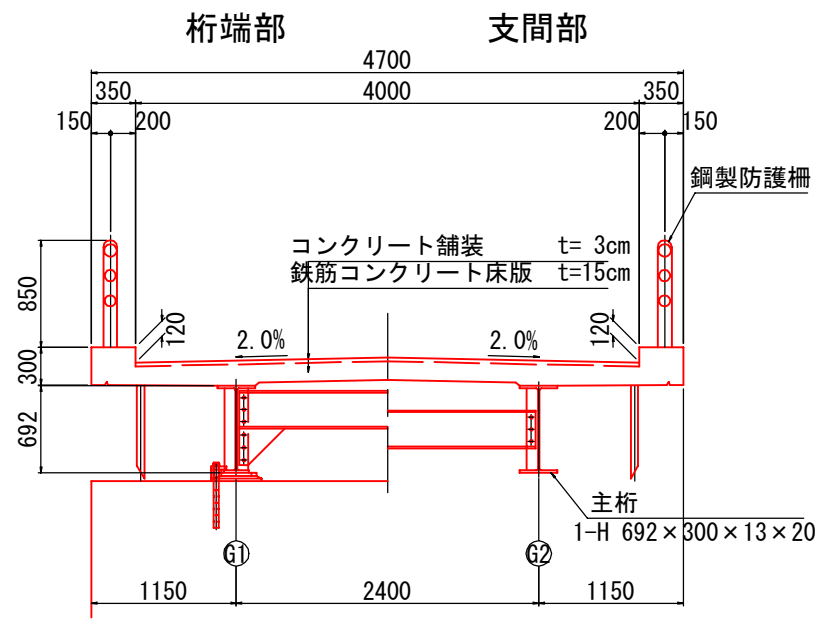


現橋一般図

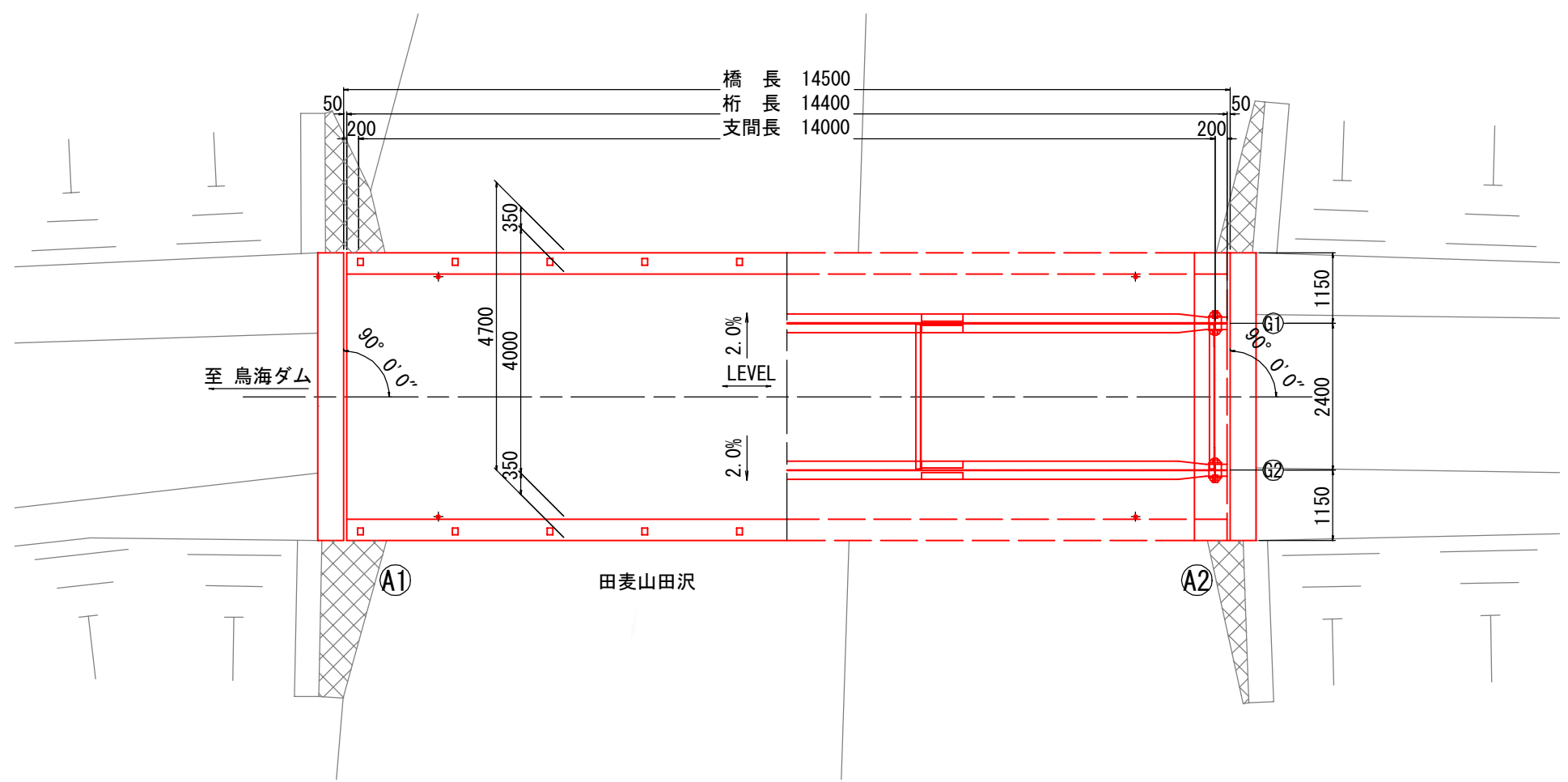
側面図 S=1:100



上部工断面図 S=1:60



平面図 S=1:100



橋梁諸元

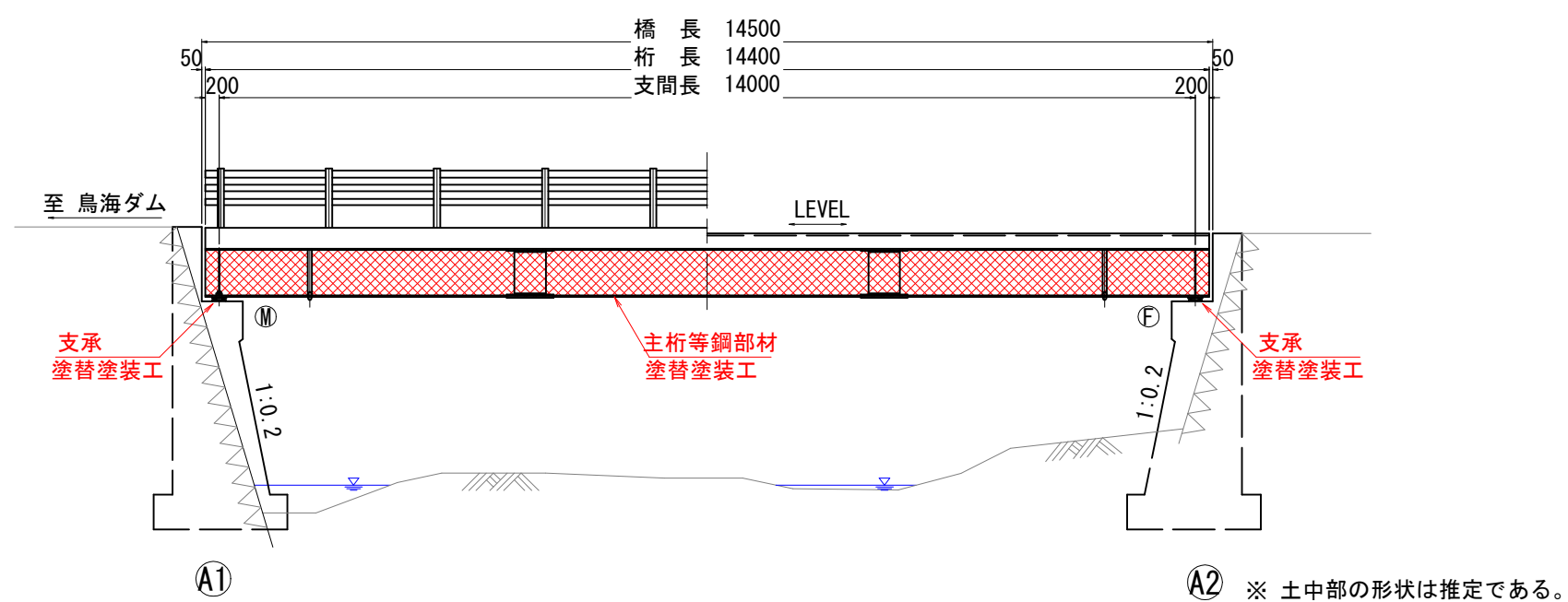
橋梁名	田麦山田橋（タムギヤマダハシ）
場所	由利本荘市鳥海町百宅字手代沢 国有林1049ろ・1050ぢ林小班
路線	東山田林道
橋格	2等橋 ※橋梁現況表
荷重	TL-14 ※橋梁現況表
架設年次	昭和44年（1969年） ※橋梁現況表
橋長	14.500m
桁長	14.400m
支間長	14.000m
斜角	90° 00' 00"
幅員構成	全幅4.700m（有効幅員4.000m）
舗装	コンクリート舗装 t=3cm ※推定
添架物	なし
上部工形式	単純鋼非合成H桁橋、鉄筋コンクリート床版 t=15cm ※推定
支承	鋼製線支承（固定可動）
下部工躯体	重力式橋台
基礎	直接基礎 ※推定
適用方書	昭和39年鋼道路橋設計示方書、鋼道路橋製作示方書
修歴	なし
補強歴	なし

※本図面は、現地寸法計測およびH形鋼カタログ、測量により復元したものである。
細部の詳細寸法については、現地再計測の上、決定すること。

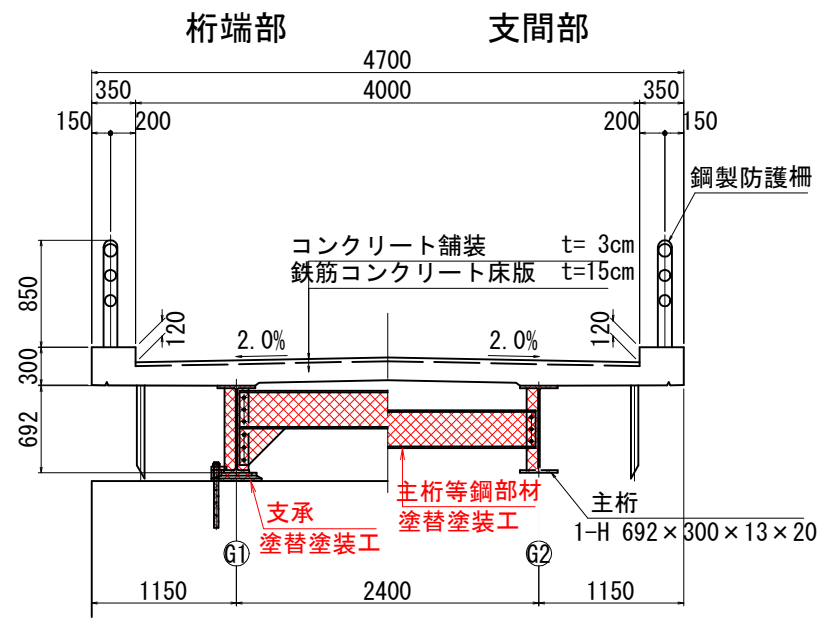
図名	現橋一般図	1/5
署名	由利森林管理署	
名称	東山田林道改良工事	
縮尺	図示	

補修一般図

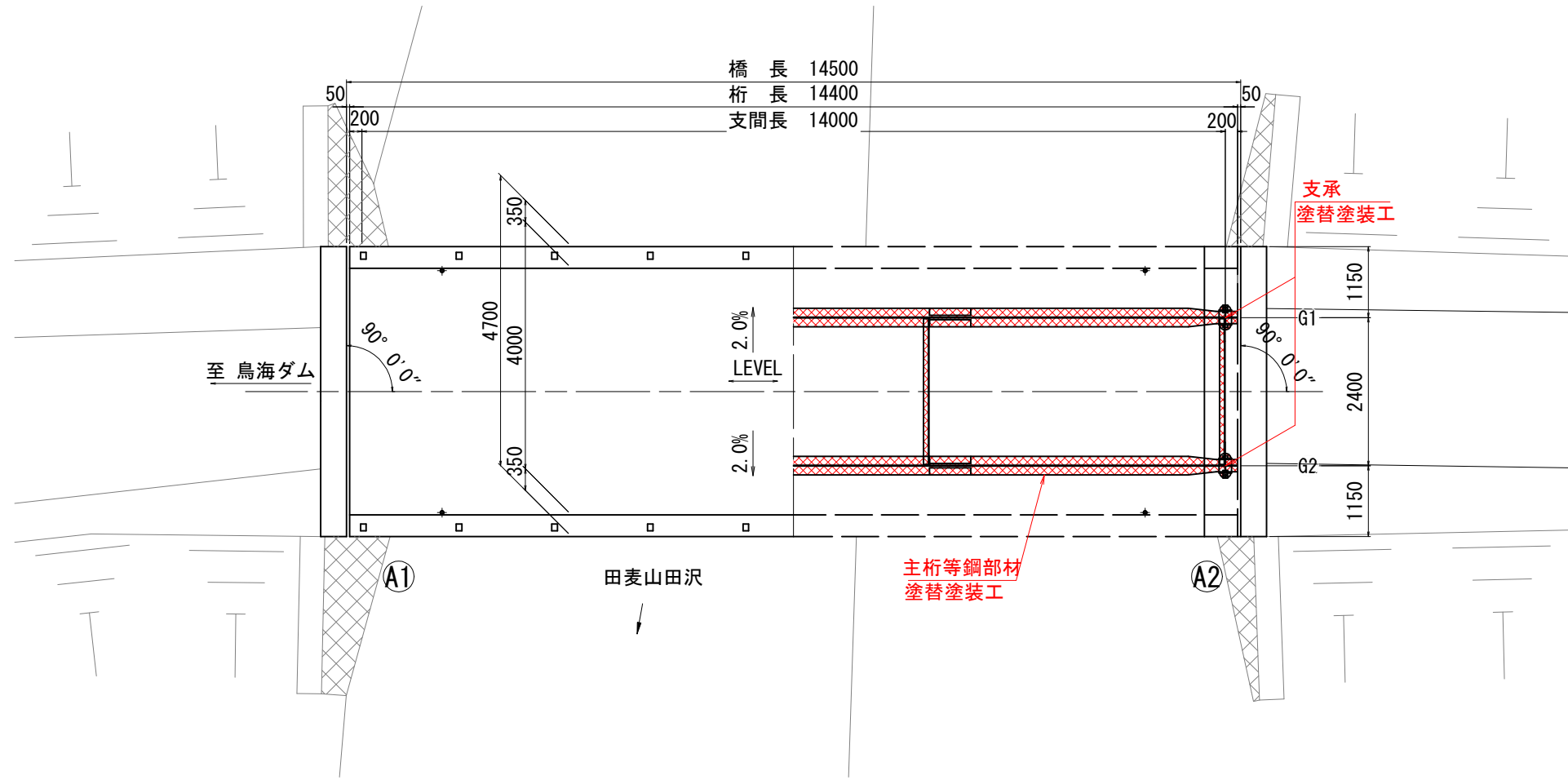
側面図 S=1:100



上部工断面図 S=1:60



平面図 S=1:100



補修一覧表

部位	内容	位置・範囲	備考
上部工	主桁等鋼部材	全体	Rc-I
支承部	支承本体	全4基	
	塗替塗装工		

※本図面は、現地寸法計測およびH形鋼カタログ、測量により復元したものである。
細部の詳細寸法については、現地再計測の上、決定すること。

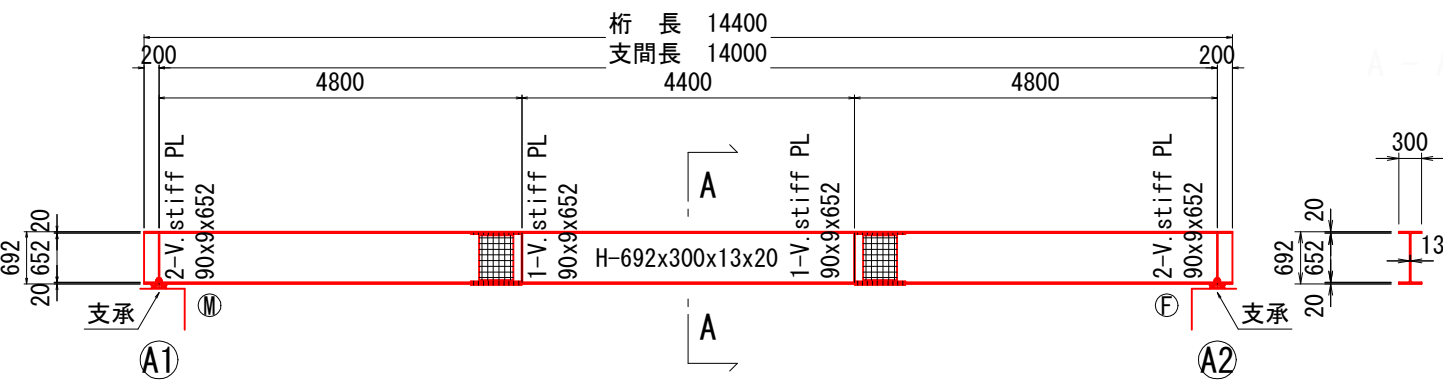
図名	補修一般図	2/5
署名	由利森林管理署	
名称	東山田林道改良工事	
縮尺	図示	

塗替塗装工詳細図

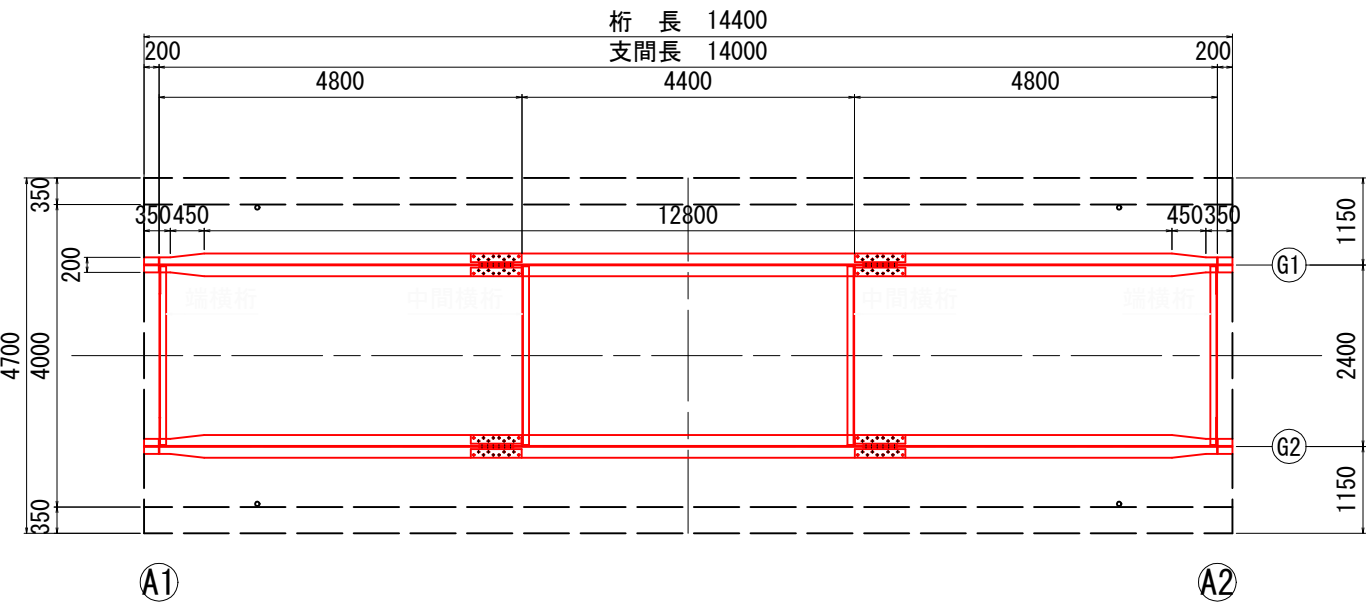
主 桁 S=1:100

横 桁 S=1:40

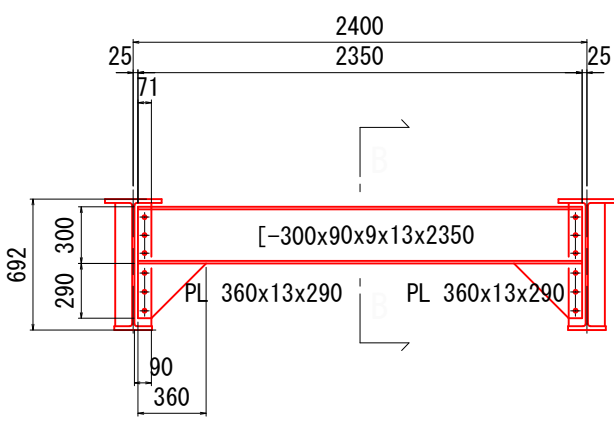
側面図



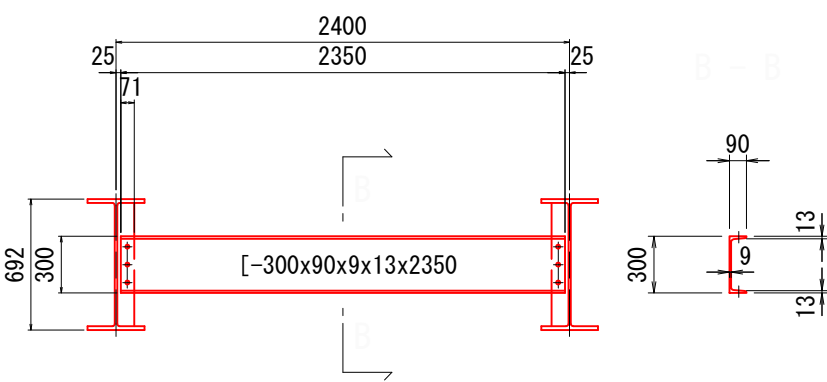
平面図



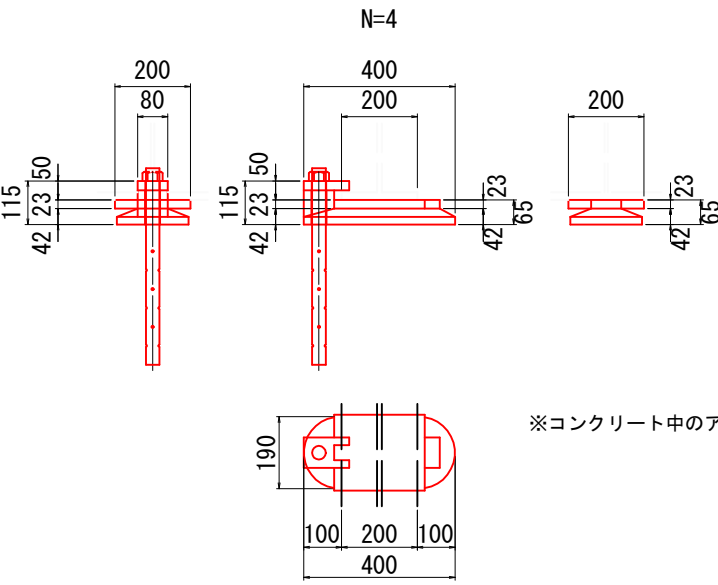
端横桁



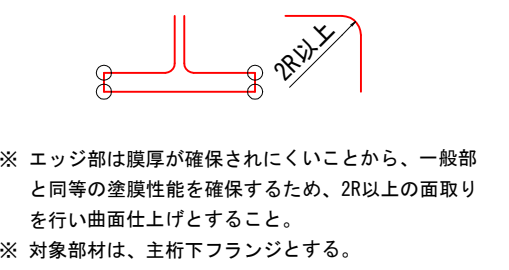
中間横桁



支 承 S=1:20



エッジ部曲面加工



※ エッジ部は膜厚が確保されにくいことから、一般部と同等の塗膜性能を確保するため、2R以上の面取りを行い曲面仕上げとすること。
※ 対象部材は、主桁下フランジとする。

※コンクリート中のアンカーボルトは推定である。

塗装仕様 (Rc-I 塗装系)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	1種ケレン：循環式ブラスト法 (ISO Sa2 1/2) (錆や旧塗膜を完全除去し、鋼材面を露出)		4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600 (スプレー)	1~10日
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240 (スプレー)	1~10日
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240 (スプレー)	1~10日
中 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗	170 (スプレー)	1~10日
上 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140 (スプレー)	1~10日

公益社団法人 日本道路協会が発行するH26.3「鋼道路橋防食便覧」に準じる。
1：原則はスプレー塗装とするが、発注者との協議の上で、はけ、ローラーに変更もできる。
2：現場の施工条件に応じて塗装間隔を別途取り決める場合もある。
3：ブラスト処理による除せい度はISO Sa2 1/2とする。

塗膜調査結果 (過年度塗膜調査業務より)

分析対象	単位	分析結果	基準	判定	基準を超過した場合
鉛	%	0.22	含有されていないこと	NG	鉛中毒予防規則適用
クロム	%	<0.1	1.0	OK	特定化学物質障害予防規則適用
PCB	%	0.0028	1.0	OK	

分析対象	単位	分析結果	基準	判定	基準を超過した場合
鉛	mg/l	-	0.3	-	特定管理産業廃棄物 廃棄物判定基準
クロム	mg/l	-	1.5	-	
PCB	mg/l	-	0.003	-	ポリ塩化ビフェニル汚染物質等の 該当性判断基準について
	mg/kg	28	0.5	NG	

※有害物質が確認されたため、施工時は安全対策（作業員、環境）を実施すること。
※PCBが0.5~5,000mg/kg以下であることから、低濃度PCB含有廃棄物としての処理が必要になる。

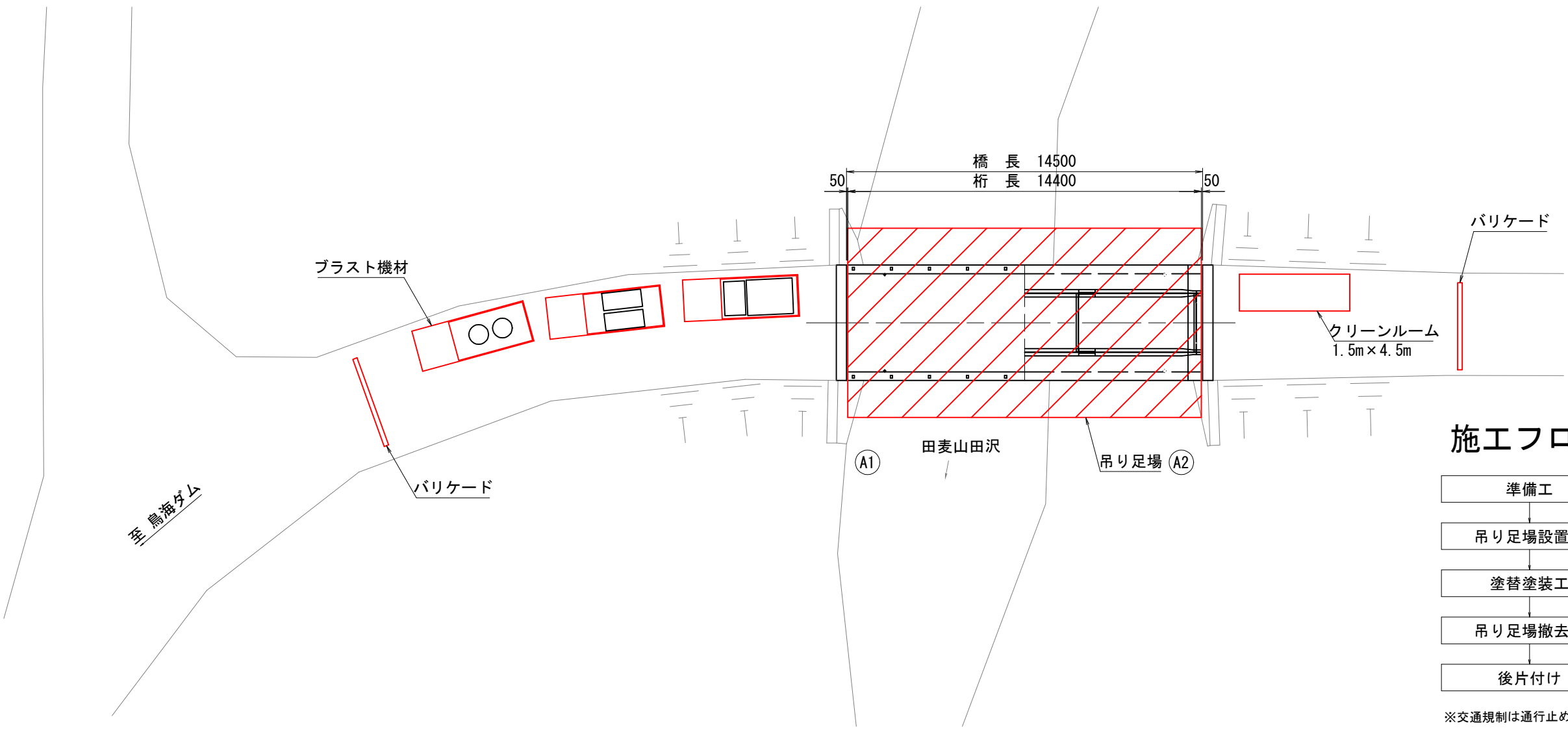
※塗替塗装範囲は、桁全範囲および支承（全4基）とする。

※本図面は、現地寸法計測およびH形鋼カタログ、測量により復元したものである。
細部の詳細寸法については、現地再計測の上、決定すること。

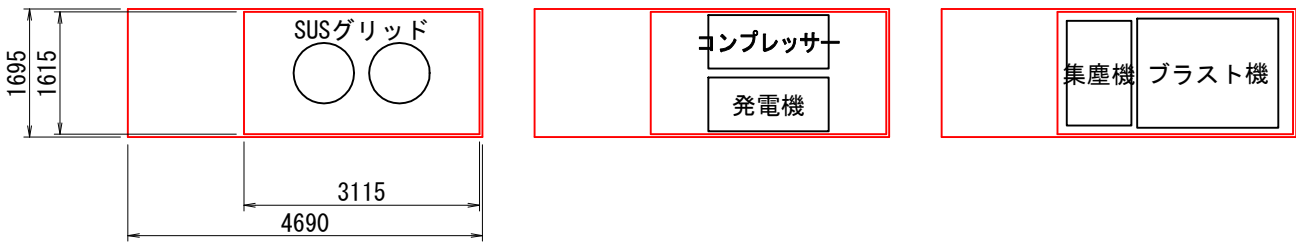
図 名	塗替塗装工詳細図	3/5
署 名	由利森林管理署	
名 称	東山田林道改良工事	
縮 尺	図 示	

施工要領図（案）（その１）

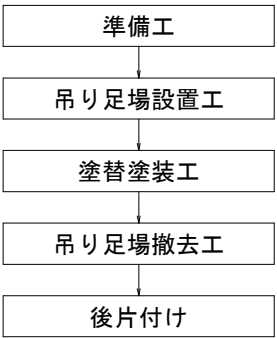
平面図 S=1:200



塗替塗装工 ブラスト機材配置図 S=1:100
1ノズル（車載式：2tトラック）



施工フロー



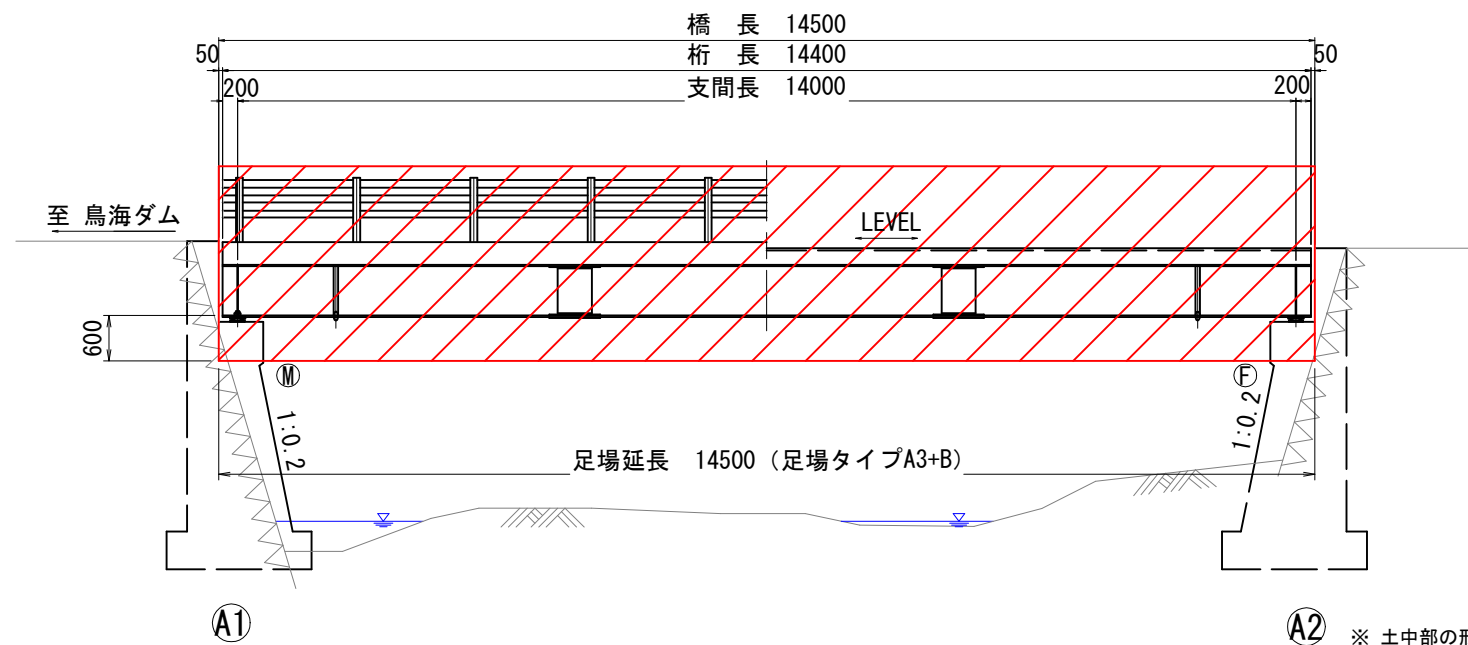
※交通規制は通行止めで行う。
※現地の冬期積雪量を考慮し、非積雪期間（6～10月程度）で施工する。
※両橋台ともに橋座部の土砂堆積がみられることから、吊り足場の設置に伴い土砂撤去を行うこと。

※本図面は、現地寸法計測およびH形鋼カタログ、測量により復元したものである。
細部の詳細寸法については、現地再計測の上、決定すること。

図 名	施工要領図（案）（その１） ⁴ / ₅
署 名	由利森林管理署
名 称	東山田林道改良工事
縮 尺	図 示

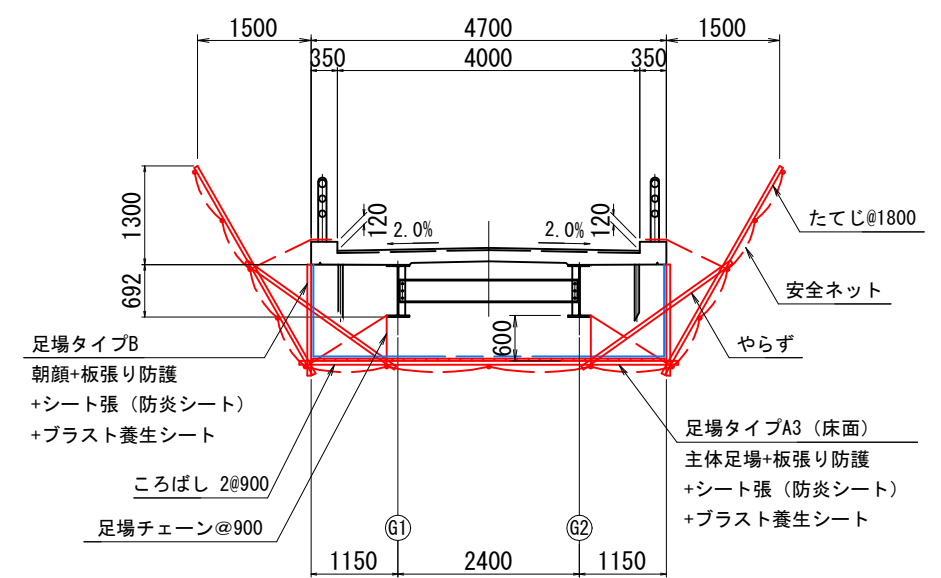
施工要領図（案）（その2）

側面図 S=1:100



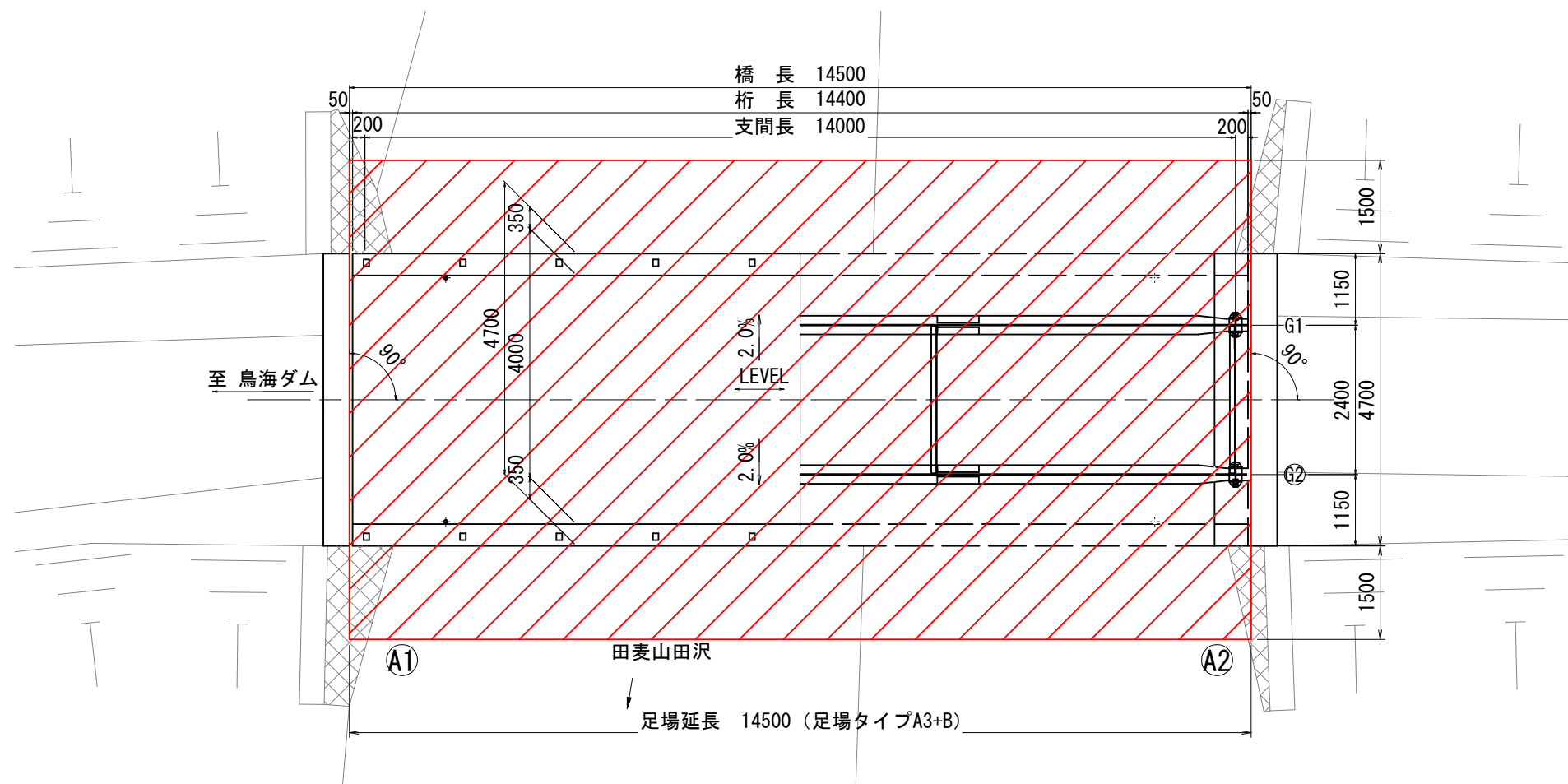
※ 土中部の形状は推定である。

上部工断面図 S=1:100



※床面の板張り防護は足場板と兼用。
※下フランジに設置する足場チェーン
箇所は盛り替えて塗装すること。

平面図 S=1:100



※本図面は、現地寸法計測およびH形鋼カタログ、測量により復元したものである。
細部の詳細寸法については、現地再計測の上、決定すること。

図名	施工要領図（案）（その2） ⁵ / ₅
署名	由利森林管理署
名称	東山田林道改良工事
縮尺	図示